

お知らせ

暑い日が続きますが如何でしょうか？体調に憂いなきよう・・・

さて8/15、トランプ大統領とプーチン大統領はアラスカにてロシアのウクライナ侵攻後初めてとなる首脳会談を終えた。結果は全体的に不透明なまま(具体的合意は明確にしている)とメディアは伝えている。しかし、プーチンが西側諸国から孤立した数年間を経て、再びこの場に戻ってきたことについては一定の評価ができるだろう。



プーチンはウクライナとの停戦・和平について歩み寄りを見せていない。トランプもプーチンとゼレンスキーとが決めることとし、仲介者の立場を貫いている。にも拘らず、トランプは関税のことには触れず「進展があった」という。要は何かしら利害が一致することが推測されるがそれは何か？

中国とロシアは、対米共闘のパートナーとして表向きは緊密な関係をアピールしている。また、2024年には中国がロシアの最大の貿易相手国となった。これはウクライナ侵攻の影響であり当面作戦と言えよう。しかし中国は「一帯一路」構想を通じて、中央アジア(カザフスタン、ウズベキスタン、トルクメニスタンなど)でインフラ投資を拡大し、経済的影響力を強化している。中央アジアは、天然資源が豊富で、地政学的にも重要な地域であり、ロシアは、主導権を維持しようとするが中国の経済力に押されているのが現状である。このことから将来作戦(中国の抑え込み)を考えたとき、昨日(冷戦時代)の敵は今日の友となる可能性はあるのか？ 今後の狐と狸の動向に注目したい。

1 山口県隊友会運営助成費について

先月号でお願いをした運営費の助成、皆様のご芳志に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(裏面へ続く)

2 山口縣護國神社みたままつりについて

同じく8月8日(木)、山口縣護國神社においてみたままつりが実施されました。
英靈の御靈に対しまして、献灯させていただきお慰めしたこと、皆様にご報告いたします。

3 令和7年靖国神社カレンダーについて

申込期限：令和7年11月20日(木) 1部：¥700-

申込は下記まで

※ 同梱のチラシをご確認ください。

4 栄典制度について

死亡叙勲は30日以内に閣議決定・裁可の手続を完了させるよう制限が課せられています。したがって部隊に速やかに(1週間以内)に通報し、手続きに着手する必要があります。ご逝去を知り得た会員及びご家族の速やかな一報をお願いします。

隊友会山口支部長 重弘 基宣

山口支部事務局長 中嶋 祥晃

※ 訃報等の情報は速やかに支部長等にご連絡ください。

※ 不在時は留守電に「氏名・用件等」をいれておいてくださると幸いです。

「山口県隊友会」ホームページ QR コード

